

Furniture London

●「コンテンポラリー・トラディショナル」を追求する

デレク・フロストのクチュール家具

Couture Furniture by Derek Frost

撮影／武藤聖一 Photo by Shoichi Muto



イギリスの若きインテリアデザイナー、デレク・フロストは、商業空間および住宅のインテリアデザイン、コンセプトプランニング、ファブリック・カーペット・ファニチュア等のプロダクトデザインを手掛ける。最近の仕事には、メイフェア内のファッションショップ「ギャラリー28」、セント・ステファン病院のエイズ患者治療センター、ニューヨーク5番

街にあるアパートメントのペントハウス、スイスのホテル等のデザイン、シンガポール「テクノロジー・パーク」のデザインコンサルティングなどがあり、その活動領域は幅広い。しかし、マルチデザイナーを自称する彼が現在もっとも力を入れているのは、ファニチュアデザインである。「私のファニチュアは、18世紀の家具に見られるデザインバランスおよ

び職人芸に、20世紀のモチーフを加味したもの」と語るフロストのデザインを形にしているのは、現代イギリスの腕きき職人たち。一つのファニチュアの製作工程には3～4人の手がかかっているという。
「コンテンポラリー・トラディショナル」な家具たちに囲まれる、彼のアトリエ兼住居を訪ねた。〈編集部〉



2



4

1. 吹抜け2階からリビングルームを見下ろす
2. ピアノの鍵盤を象徴したサイドボード。何種類もの突き板による寄せ木
3. 玄関ホールの壁取り付けコンソールテーブル。甲板エッジと脚に螺でん細工のラインが入っている
4. 仕事部屋にある逆三角形の脚を持つデスク
5. リビングルームの中央に据えられたローテーブル



3



5